

1. 愛媛県地域環境保全基金の残高等

		金額 (単位:円)	備 考
①	基金総額 (前年度末基金残高)	320,070,273	
	内訳	うち、国費相当額	160,035,137
		うち、地方負担相当額	160,035,136
		うち、負担附寄附金等	
②	基金運用益	39,031	
③	その他収入	1,150,000	
④	負担附寄附金等	0	
⑤	返納額	0	
⑥	基金執行額 (処分額)	35,489,561	内訳は下表のとおり
⑦	基金残高	285,769,743	(=①+②+③+④-⑤-⑥)
	内訳	うち、国費相当額	142,884,872
		うち、地方負担相当額	142,884,871
		うち、負担附寄附金等	

2. 保有割合

次年度の基金類型	取崩型	金額 (単位:円)	備 考
⑧	基金残高	285,769,743	
⑨	事業費 (次年度から終了年度までの見込額)	285,769,743	
⑩	保有割合	1.00	= (⑧/⑨)

保有割合の算定根拠□
 運用型：運用益見込額÷事業費 (次年度見込額) □
 取崩型：基金残高÷事業費 (次年度から終了年度までの見込額)

3. 事業一覧

番号	事業名	事業費		備考	達成度	事業費 (次年度)	事業費 (終了まで)	
		合計	一般財源等					基金充当額
1	低炭素社会の実現に向けた県民活動促進事業	8,080,284		8,080,284	内寄附金150,000	90%	19,958,000	127,136,910
2	循環型社会づくりのためのライフスタイル転換促進事業	12,471,935		12,471,935	内寄附金1,000,000	72%	10,798,353	62,109,974
3	100年先も生きものみんなやさしい愛顔推進事業	14,937,342		14,937,342		100%	18,867,000	96,522,859
4		0						
5		0						
6		0						
7		0						
8		0						
9		0						
10		0						
11		0						
12		0						
13		0						
14		0						
15		0						
合 計		35,489,561	0	35,489,561			49,623,353	285,769,743

4. 基金事業の目標に対する達成度

成果指標	「目指すべき3つの社会の実現」 (成果指標) (1) 県内の温室効果ガス排出量 17,673千t-CO2の達成 (2) 県民1人1日当たり排出量 (一般廃棄物) 868gの達成 (3) 生物多様性の認識度60%の達成
成果実績	(1) 令和2年度県内の温室効果ガス排出量 18,188千t-CO2 (2) 令和3年度県民1人1日当たり排出量 (一般廃棄物) 881g (3) 生物多様性の認識度60.4%の達成
目標値	(1) 県内の温室効果ガス排出量 17,673千t-CO2の達成 (2) 県民1人1日当たり排出量 (一般廃棄物) 868gの達成 (3) 生物多様性の認識度60%の達成
達成度	(1) 90.4% (基準年排出量22,922千t-CO2に対して) (2) 71.7% (基準年 (H27年度) 排出量914gに対して) (3) 100% (認識度5%向上の目標に対して)

令和4年度 事業報告書

事業名	低炭素社会の実現に向けた県民活動促進事業	新規・継続区分	継続
事項名	地球温暖化対策推進事業費	開始年度	令和元年度
担当部署	環境政策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

- (1) 目的
低炭素社会の実現に向けた県民活動の推進
- (2) 目標
・温室効果ガス排出量を2030年度に2013年度比で27%削減

2. 概要

県民一人ひとりが地球温暖化対策に対する意識を持ち、エネルギー消費の少ないライフスタイル・ビジネススタイルへの転換を図っていくため、緩和策と適応策の普及啓発・活動支援や環境教育の充実・強化を図る。

3. 根拠法令等

愛媛県環境基本条例
愛媛県地球温暖化防止実行計画

4. 実施内容等

- (1) 中小企業向け脱炭素経営セミナーの開催
具体的な脱炭素の取組みや、活用可能な支援等を紹介のほか、「省エネ最適化診断」の受診や個別相談支援事業の案内を行う、中小企業向けのセミナーを開催した。
第1回 令和4年7月15日（金） 松山市 参加人数 42人 第2回 令和4年9月30日（金） 新居浜市 参加人数 34人
第3回 令和4年10月3日（月） 八幡浜市 参加人数 28人
- (2) 脱炭素型ライフスタイルの推進幅広くクールチョイスの意識啓発を行うため、ポスターの掲示等を通じた「クールビズ・ウォームビズ」の呼び掛けや、地球温暖化をテーマにした4コママンガの募集、展示等による意識啓発を行ったほか、「温泉」・「自転車」の利用促進、家庭用照明器具のLED化促進により家庭からの温暖化対策を促すキャンペーンを実施した。SDGsの普及啓発のため、中高生を対象としたワークショップを開催し、気候変動対策を題材として、総合的な解決の必要性について理解促進を図った。
2050年脱炭素社会へ向け、県民・事業者等がそれぞれの立場で脱炭素社会実現のための具体的なアクションプラン宣言を行い実践を推進することで、県内の機運醸成を図った。
○クールビズ 実施機関：579企業・団体、20市町、県 ○ウォームビズ 実施機関：573企業・団体、20市町、県
○温泉でほっ！とシェアキャンペーン 温泉シェアスポットの登録数：63施設
○自転車でエコ通勤キャンペーン
えひめツーキニストクラブ会員：567名 自転車ツーキニスト推進事業所：47事業所 えひめツーキニスト応援隊：98事業所
○おうちの照明LEDに買い替えキャンペーン 総応募数：248件 ○STOP！地球温暖化4コママンガコンテスト 総応募数：473点
○マイSDGs実践促進事業
令和4年10月14日（金） 四国中央市立三島南中学校（2年生 75人）
令和4年11月2日（水） 八幡浜市立松柏中学校（全学年 103人）
令和5年2月15日（水）～16日（木） 愛媛県立新居浜南高等学校（2年生 5人）
令和5年2月16日（木） 愛媛県立三崎高等学校（1年生 43人）
令和5年2月25日（土） 愛媛県立松山工業高等学校（受講希望生徒 7人）
○2050年脱炭素社会・アクション宣言 登録事業者数：99社
- (3) 気候変動適応策の普及啓発
適応策の理解促進のため、気候変動による自然災害発生時の対応をゲーム体験できるイベントを実施したほか、熱中症リスクの高い子どもを対象に、えひめこどもの城のイベントでクールタオル及び適応カードを配布し、適応策の推進を図った。
○風水害24体験会 令和5年1月29日（日） 参加人数 24人 ○クールタオル配布期間 令和4年7月～8月 配布枚数 1,080枚
- (4) 県民活動支援事業
環境活動グループ等が自主的に行う勉強会に、講師として環境マイスターを派遣するほか、より高度な環境知識の習得のため、外部講師による「えひめ環境大学」を開催した（年間5講座）。
○環境マイスター派遣回数 2回
○えひめ環境大学 令和4年7月2日、9日、16日、23日、30日（いずれも土曜日） 受講者数 延べ226名

令和4年度 事業報告書

事業名	低炭素社会の実現に向けた県民活動促進事業	新規・継続区分	継続
事項名	新エネルギー等導入促進事業	開始年度	令和元年度
担当部署	環境政策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

- (1) 目的
低炭素社会の実現に向けた再生可能エネルギー及び水素エネルギーの導入促進
- (2) 目標
・温室効果ガス排出量を2030年度に2013年度比で27%削減

2. 概要

地域レベルでの再生可能エネルギー等の導入促進を図るため、家庭や企業向け普及啓発を行う。

3. 根拠法令等

愛媛県環境基本条例
愛媛県地球温暖化防止実行計画

4. 実施内容等

- (1) 再生可能エネルギー及び水素エネルギー普及セミナーの開催
企業のほか環境マイスターや地球温暖化防止活動推進員を対象に、再エネや水素エネルギーに関する技術情報や導入事例などの情報をテーマ別に提供するセミナー・勉強会を開催（計3回）し、セミナーで得た知識を個々の活動に生かしてもらうことで、地域住民に対し、効率的に知識の普及を図った。
○新エネルギー導入促進協議会 令和5年2月14日 オンライン開催
○水素部会勉強会 令和5年2月14日 オンライン開催
○セミナー 令和4年12月1日 愛媛大学
- (2) 子ども向け再生可能エネルギー勉強会等の開催
次世代を担う小・中学生を対象に、再生可能エネルギーに関する出前講座（年間6校）や再エネ施設の見学会（年1回）、水素エネルギー教室（年1回）を開催した。
○新エネルギー教室（出前講座）
令和4年11月25日 今治市立亀岡小学校 4～6年生16人 令和4年11月29日 新居浜市立新居浜小学校 6年生29人
令和5年1月17日 砥部町立宮内小学校 5年生49人 令和5年1月24日 今治市立桜井小学校 6年生59人
令和5年2月10日 四国中央市立中曽根小学校 6年生49人 令和5年2月20日 四国中央市立三島小学校 6年生41人
○新エネルギー見学会
令和4年8月6日 四国電力株式会社松山太陽光発電所 参加者18人
○水素エネルギー教室
令和4年10月29日 愛媛大学 参加者16人

令和4年度 事業報告書

事業名	循環型社会づくりのためのライフスタイル転換促進事業	新規・継続区分	継続
事項名	3R活動推進事業	開始年度	令和元年度
担当部署	循環型社会推進課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

- (1)目的
循環型社会づくりのためのライフスタイル転換の促進
- (2)目標
・県民1人1日当たり排出量（一般廃棄物）868gの達成

2. 概要

県民一人ひとりが、従来の大量生産・大量消費型かつワンウェイ型のライフスタイルを見直し、循環を基調とした生活の豊かさと環境の保全を両立させたライフスタイルへの転換を図っていくため、食品ロスやプラスチックごみの削減のほか、リサイクル製品の利用促進等の3Rに関する各種普及啓発事業を実施する。

3. 根拠法令等

えひめ循環型社会推進計画
えひめプラスチック資源循環戦略
愛媛県食品ロス削減推進計画

4. 実施内容等

- (1) 食べきり宣言事業所推進事業
食品ロス削減のため、「食べきり」に、社員一同で取り組む県内事業所を「食べきり宣言事業所」として登録・紹介するとともに、ポスター等の啓発資材を掲示することにより、事業所（例：銀行等）を訪れる県民に家庭での取組みを促すなど普及啓発を行った。
・登録事業所数：551事業所（令和5年3月末時点）
- (2) 食品ロス削減推進店舗制度事業
食品ロス削減に取り組む県内小売店舗を募集して登録し、その名称や取組内容等を県HPで紹介した。
また、県民に本制度を広く周知し、食品ロス削減の意識啓発を図るとともに、同推進店の取組みを更に活性化させるため、SNS広告を通じた「食品ロス削減推進店の応援企画事業」の実施や、ラジオ番組を放送した。
・登録店舗数：254店舗（令和5年3月末時点） ・応援企画参加店舗数：253店舗
- (3) ビーチクリーン活動普及促進事業
海洋プラスチックごみをテーマとする環境学習会及び海岸清掃活動を実践する体験型イベント（対象：小、中学生）を開催することにより、海岸清掃活動への意識啓発を図った。
・日 時：9月10日（土）
・場 所：松山市中島
・参加者数：29名（小学生、中学生及び保護者）
- (4) プラスチックごみ問題啓発動画作成事業
中高生がプラスチックごみ問題を正しく理解し、自発的な行動につなげていくことを目的として、プラスチックごみ問題の現状や削減に向けた取組みを分かりやすくまとめた短編アニメーション動画を作成し、環境教育の推進を図るとともに、県HPへの掲載やSNS広告により、広く県民に対して普及啓発を行った。
・動画：45秒～2分半の動画 全6本
・周知：県内中学校、高等学校、県HP、SNS広告 など
- (5) ワンウェイプラスチック削減意識啓発事業
令和4年4月に施行された「プラスチック資源循環法」の内容を踏まえ、特定プラスチック使用製品（フォーク・スプーン・ハンガー等）提供事業者（食品小売店、飲食店等）と連携し、啓発チラシ・ポスター等の掲示やSNS広告により消費者にワンウェイプラスチック製品の利用削減を促した。また、県内大学と連携し、大学内の食堂やイベント等でワンウェイプラスチック製品の利用削減を呼び掛けることにより、若者の環境意識向上を図った。
・協力店舗：784店舗
・実施日：【愛媛大学】11月12、13日（土、日）【松山大学】11月19、20日（土、日）
・来場者：821名（愛媛大学221名、松山大学600名）
- (6) 「愛媛の3Rフェア」開催事業
3R推進月間に合わせ、認定事業者・団体の優良リサイクル製品や事業所の3R活動、県民が身近に取組める3R活動等の紹介を行うイベントを開催し、県民に3R活動に配慮した消費行動の実践を促した。
・日 時：10月1、2日（土、日）
・来場者数：1,500人
- (7) 「3R体験ツアー」開催事業
主に小学校高学年を対象とし、県内のリサイクル製品の製造現場等を見学する体験ツアーを開催した。
・実施日程：【東予コース】8月5日（金）、【中予コース】8月8日（月）
・参加人数：54名（東予コース28名、中予コース26名）
- (8) 「わがまちの3R展」開催事業
市町等が行う3R関連イベント等において、優良モデルの普及啓発や市町が取組む3R活動を紹介する巡回展を開催した。
・実施場所及び実施日：①新居浜市地球高温暖化対策地域協議会（新居浜市）：6月18日（土）
②SDGsふえすたin霧の森（四国中央市）：8月7日（日）
③体験フェスティバルin交流の家（大洲市）：10月15日（土）
④えひめ・松山産業まつり すごいもの博（松山市）：11月26、27日（土、日）

令和4年度 事業報告書

事業名	循環型社会づくりのためのライフスタイル転換促進事業	新規・継続区分	継続
事項名	バイオマス利用拡大事業費	開始年度	令和元年度
担当部署	環境政策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

<p>(1)目的 循環型社会づくりのためのライフスタイル転換の促進</p> <p>(2)目標 ・県民1人1日当たり排出量（一般廃棄物）868gの達成</p>
--

2. 概要

<p>県民一人ひとりが、従来の大量生産・大量消費型かつワンウェイ型のライフスタイルを見直し、循環を基調とした生活の豊かさと環境の保全を両立させたライフスタイルへの転換を図っていくため、県民に対し、使用済み天ぷら油を始めとするバイオマスの利活用に対する啓発を図るとともに、県民がよりバイオマス活用に参加しやすい環境整備に取り組む。</p>
--

3. 根拠法令等

<p>バイオマス活用推進基本法 愛媛県バイオマス活用推進計画</p>
--

4. 実施内容等

<p>(1) バイオディーゼル燃料普及啓発事業 使用済み天ぷら油の回収及びそれを原料とするバイオディーゼル燃料の利用拡大を図るため、企業との連携によるエコポイント制度を実施するほか、講演会の開催や広報用車両を活用した普及啓発を行った。 ○バイオマス利活用促進連絡協議会講演会 令和5年2月17日 オンライン 参加者63人 ○バイオマス啓発ブース出展 えひめの3Rフェア 令和4年10月1日、2日 エミフルMASAKI 来場者1,500人 えひめ産業まつり 令和4年11月26日、27日 松山市城山公園 来場者1,095人</p> <p>(2) エコライフ推進事業費 県の環境学習拠点において、一般県民を対象とした3R推進に関する学習プログラム等の実施及び環境学習に関する相談・指導を行った。 環境学習に関する相談・指導 計33件 エコライフ推進員派遣業務 計10件 環境学習プログラムの実施 計9回（166人） 通年実施プログラム 計18種（6,190人） 期間実施プログラム 計128回（955人） 環境関連イベント 計1回（66人）</p>
--

令和4年度 事業報告書

事業名	100年先もみんな生きものみんなやさしい愛顔推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	生物多様性普及強化事業費	開始年度	令和元年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

- (1) 目的
生物多様性の重要性の普及及び人材育成の促進
- (2) 目標
生物多様性の認識度 60%の達成

2. 概要

高校生による研究や保全活動の発信を通じた普及啓発の強化と、交流学习を通じたネットワーク形成を図るとともに、企業など多様な主体を生物多様性保全活動に呼び込む体制の構築を図る。

3. 根拠法令等

生物多様性基本法
愛媛県環境基本条例
えひめ環境基本計画
第2次生物多様性えひめ戦略

4. 実施内容等

- (1) つなげ！えひめの生物多様性高校生チャレンジシップ開催事業
- 生物多様性保全活動研究発表会（1日目：8月20日（土））
県内高校の発表審査及び県外高校を招待しての発表を行い、先進的な研究活動を行っている県外高校生との交流を通じて県内高校生の生物多様性保全活動の活性化、人材育成を図った。（県内6校、県外4校が参加）
 - 交流学习会（2日目：8月21日（日））
生物多様性保全に関する課題・対策等を研究討議するワークショップ等を行った。（21人）
 - 生物多様性関係企業の紹介冊子の作成
生態系保全及び動物生理等の生物多様性に関わる企業（8社）の紹介冊子を作成し、参加者等への知識の普及を図った。
- (2) 動植物販売事業者の生物多様性保全推進事業
- 生物多様性企業参画推進セミナーの開催（10/27、11/1、11/9、11/17、11/25、11/27）（計6回527人）
県内の動植物を販売等している企業・団体等に対し、希少種や外来種に係る普及を図った。

令和4年度 事業報告書

事業名	100年先もみんな生きものみんなやさしい愛顔推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	生物多様性えひめ戦略推進事業費	開始年度	令和元年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

- (1) 目的
生物多様性の重要性の普及及び人材育成の促進
- (2) 目標
生物多様性の認識度 60%の達成

2. 概要

県民の生物多様性保全意識の高揚・定着を図るために情報提供を行うとともに、各機関・団体等の活動発表等の機会を設けることにより、生物多様性の認知度向上を図る。

3. 根拠法令等

生物多様性基本法
愛媛県環境基本条例
えひめ環境基本計画
第2次生物多様性えひめ戦略

4. 実施内容等

- (1) 生物多様性センターニュースレター事業
生物多様性に関する特集やイベント案内、生物多様性の保全に向けた取り組みの紹介や生物多様性センターが実施している調査・研究について掲載し、県民の生物多様性保全意識の高揚・定着を図るために情報提供を行った。
(年2回)
- (2) 「えひめの生物多様性フェスティバル」開催事業費
ネットワーク会議各機関の活動発表の機会を設け、活動の活性化、人材育成を行うとともに、広く一般県民への普及啓発を行った。(10/1～10/2、エミフルMASAKI、約200人)
- (3) 外来生物対策事業
外来生物が生物多様性に与える影響等について研修会を開催するとともに、パンフレットを作成・配布することにより、広く一般県民へ普及啓発を行った。(8/3、県農林水産研究所花き研究指導室、15人)

令和4年度 事業報告書

事業名	100年先もみんな生きものみんなやさしい愛媛推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	自然観察会開催事業費	開始年度	令和元年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

- (1) 目的
生物多様性の重要性の普及及び人材育成の促進
- (2) 目標
生物多様性の認識度 60%の達成

2. 概要

自然環境保全に対する県民意識の高揚を図るため、次代を担う青少年など広く一般県民を対象に、豊かな生態系を育む森林等において、植樹等の自然再生活動体験や野外学習、環境教育等を行う。

3. 根拠法令等

生物多様性基本法
愛媛県環境基本条例
えひめ環境基本計画
第2次生物多様性えひめ戦略
鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律

4. 実施内容等

- (1) 自然観察会開催事業
自然環境に対する県民の関心を高め、その保全・創出等に県民を挙げて取り組むため、森林等を有する里地里山に活動の場を求め、広く一般県民を対象に、森が育む野生動植物や大気の浄化、水系など森の恵みについて学び、豊かな生物多様性が発揮する機能を知ることで、そこに生息・生育する動植物とともに森や里地を保全する活動を実践するための自然観察会を開催した。
(6/4、6/29、7/8、7/9、7/19、7/23、9/29、10/3、10/5、10/21、10/24、10/31、11/9、11/16) (計15回477人が参加)

令和4年度 事業報告書

事業名	100年先もみんな生きものみんなやさしい愛顔推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	狩猟免許費	開始年度	令和元年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

(1) 目的
 生物多様性の重要性の普及及び人材育成の促進

(2) 目標
 生物多様性の認識度 60%の達成

2. 概要

生物多様性保全上、重要な地域である石鎚山系などの高標高域においても野生鳥獣による自然植生被害が問題となっていることから、野生鳥獣による問題を広く普及啓発することを目的として、出前授業等を開催する。

3. 根拠法令等

生物多様性基本法
 愛媛県環境基本条例
 えひめ環境基本計画
 第2次生物多様性えひめ戦略
 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律

4. 実施内容等

(1) 野生鳥獣被害等対策
 ○大学の生物系学科、獣医学科、農業高校等を対象に出前授業を開催し、野生鳥獣の問題及び狩猟や生物多様性保全知識を普及啓発した。

実施校
 伊予農業高等学校 令和4年10月3日
 上浮穴高等学校 令和4年11月9日
 大洲農業学校 令和4年12月26日

令和4年度 事業報告書

事業名	100年先もみんな生きものみんなやさしい愛顔推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	石鎚山系地域資源活用共生事業費	開始年度	令和元年度
担当部署	自然保護課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

<p>(1)目的 ・地域が主体となって愛媛県の自然の象徴である石鎚山系の自然を学び、親しむことができるアウトドアイベントを開催し、地域住民に対する石鎚山系の環境保全に関する知識の普及・啓発を図る。</p> <p>(2)目標 ・生物多様性の認識度60%の達成</p>
--

2. 概要

<p>「えひめさんさん物語」の連携プログラムに位置付けて令和元年に実施した石鎚山系における地域住民主体のイベントを継続していくために、愛媛県石鎚山系エコツーリズム推進協議会（事務局：愛媛県自然保護課）に対し負担金を支出するもの。翌年度以降も、引き続き石鎚山系の環境保全に関する知識の普及・啓発を図るため、地域住民や関係機関とも連携して実施していく。</p> <p>また、令和4年度より、西日本最高峰であり百名山の1つである石鎚山において、美しい景観、豊かな生物多様性を次世代へつなげることを目的として、地域住民、地元企業、行政が連携して環境保全啓発イベントを実施する。</p>
--

3. 根拠法令等

<p>自然公園法 エコツーリズム推進法</p>

4. 実施内容等

<p>(1) 石鎚山系でのアウトドアイベントの開催 愛媛県エコツーリズム推進協議会において、「えひめさんさん物語」の連携プログラムに位置付けてイベントを開催した。 日程：令和4年11月5日（土） 場所：愛媛県上浮穴郡久万高原町 面河ダム公園 内容：・ハイキング、ノルディックウォーキング、湖畔ヨガ等のエコツアー ・生物多様性講座 ・地元製品の販売会（マルシェ）等 【参加者数】518名</p> <p>(2) 環境保全意識啓発事業 「グラウンドワーク石鎚」を次の内容で開催した。 日程：令和4年11月3日（木・祝） 場所：石鎚山土小屋ルート 内容：登山を通じた登山道清掃、トイレマナーの啓発、外来植物侵入防止の啓発</p>
--

令和4年度 事業報告書

事業名	100年先もみんな生きものみんなやさしい愛顔推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	自然公園等管理費	開始年度	令和元年度
担当部署	自然保護課課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

県立自然公園は指定してから長い年月が経つが、これまでそれらの公園等で具体的な普及啓発等の取組みを行っていなかった。そのため、県立自然公園の貴重な自然環境等を紹介するパンフレットを作成し、環境啓発イベント等で活用し、広く周知活動を行うことで、優れた自然の風景地の保護と適正な利用の促進を図るとともに、豊かな自然を将来へ継承する。

2. 概要

県立自然公園7か所から1つ選定し、その地域の自然環境等を紹介するパンフレットを作成。そのパンフレットを利用し、地域で活動する団体等とも連携して環境啓発イベント（エコツアー等）開催する等、様々な機会を活用することで、利用者の自然環境保全への意識を向上させるとともに、公園の認知度向上及び利用促進を図る。
※7年かけて全ての県立自然公園においてパンフレットを作成し、翌年に環境啓発イベント（エコツアー等）を実施する。

3. 根拠法令等

愛媛県県立自然公園条例

第1条 この条例は、県内にある優れた自然の風景地を保護するとともに、その利用の増進を図ることにより、県民の保健、休養及び教化に資するとともに、生物の多様性の確保に寄与することを目的とする。

第3条 県、事業者及び自然公園の利用者は、愛媛県環境基本条例（平成8年愛媛県条例第5号）第3条に定める環境の保全についての基本理念にのっとり、優れた自然の風景地の保護とその適正な利用が図られるように、それぞれの立場において努めなければならない。

4. 実施内容等

愛媛県に存在する7ヶ所の自然公園内にある保全すべき自然環境の魅力を広く普及するためのパンフレットを1年1ヶ所、計7年かけて作成する。令和4年度は奥道後玉川県立自然公園のパンフレットを作成した。

【規格】210mm×100mm 16ページ オールカラー

【数量】2,000部

また、作成したパンフレットを利用し地域住民や子ども達にその地域の自然環境の保全の重要性の普及・啓発を行うために、前年度にパンフレットを作成した皿ヶ嶺連峰県立自然公園にて次のとおりイベントを開催した。

○環境啓発イベント

【日程】令和4年7月24日（日）【場所】愛媛県東温市 上林森林公園

【内容】親子で楽しむ昆虫観察 【参加者数】68名

○パンフレットを活用した通年イベント（フォトコンテスト）

【期間】令和4年8月1日（月）～12月25日（日） 【応募者数】348点